

報告案件（5）たすけあいプロジェクト（地域バスのあり方を考える調査）について

1 たすけあいプロジェクトについて

(1) 目的

中山間地域の高齢者を含む全ての人々が、住み慣れた場所でその人らしく、最後まで暮らすことができるよう、安全で自由な移動と、地域で安心して暮らすためのコミュニティを構築。

(2) 実施主体

たすけあいプロジェクト推進協議会（平成29年7月～）
（構成員：名古屋大学、足助病院、豊田市、区長、社会福祉協議会等）

(3) 取組の概要

足助、旭地区等の高齢者（主に独居高齢者）にタブレットを配布し、お出かけ促進、移動支援、健康維持を総合的に支援する。

①お出かけ促進

健康教室やイベントの情報発信、足助病院での「タブレット教室」を開催
（たすけあいカーの使い方、脳トレゲーム、懐メロ視聴など）

②移動支援

- ・共助のマイカー（たすけあいカー）：地域住民がマイカーを使って高齢者を送迎（無償運送）
- ・タクシー相乗り（タクシム）：システムにより相乗りをマッチング

③健康見守り

「独居高齢者」の生活の状態を人感センサーで感知し、家族、足助病院、地域が見守る。

2 モビリティマネジメントの実施

(1) 目的

上記②移動支援の取組において、地域の移動実態や移動に対する意識を把握するとともに、地域バスを利用する状態へと導くための取組、今後の地域の交通あり方を検討の参考資料を取得する。

(2) 内容

- ①移動実態調査、移動に対する意識調査
- ②コミュニケーションアンケート
（時刻表、マップ、利用アドバイスなど）
- ③地域バスの利用（回数券、利用券の配布）
- ④事後調査

(3) スケジュール

	項目	実施時期	
		旭	稲武
1	事前調査 対象者：地区全世帯（16歳以上） 調査内容：家族の状況、車の所有状況など。 公共交通に関する意識 移動実態調査	8月 配布 949 回収 335	10月 配布 977 回収 391
2	コミュニケーションアンケート 対象者：事前調査の回答者より無作為抽出 依頼内容 ■地域バス利用のお願い ■配布物 <u>地域バス回数券または利用券(一人4枚)</u> 地域バスの時刻表と路線図 地域バス利用に関するアドバイス	10月 ～ 11月 400名	11月 ～ 12月 400名
3	地域バスを実際に利用	10月中旬～ 11月末	11月下旬～ 1月上旬
4	事後調査 対象者：上記2の対象者と調査1の回答者 調査内容 ■地域バスの利用状況について ■公共交通などに関する意識について ■普段の移動や意識について	12月下旬	2月上旬

(4) コミュニケーションアンケートにおける回数券（旭地区）、利用券（稲武地区）⇒プロジェクト用に発行

【旭地区】

回数券はデザイン（色）のみの変更
割引や運賃の変更無し
プロジェクト期間外でも利用可



【稲武地区】

回数券ではなく無料の利用券
利用後、プロジェクトから
運行事業者へ支払い

